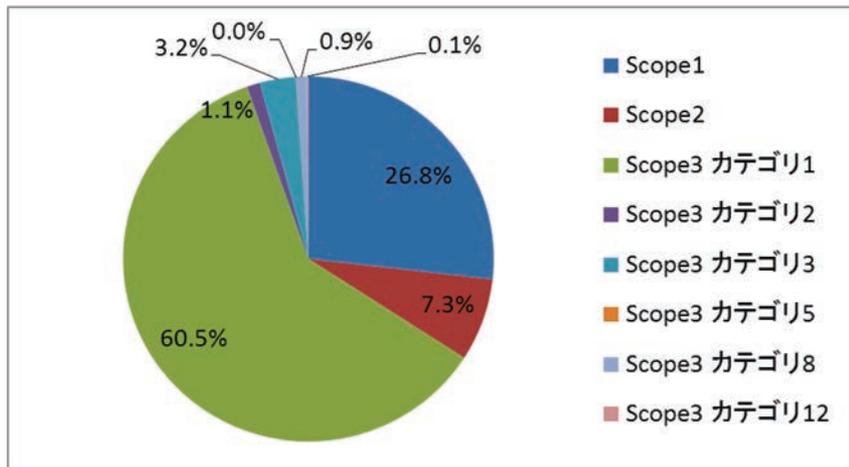
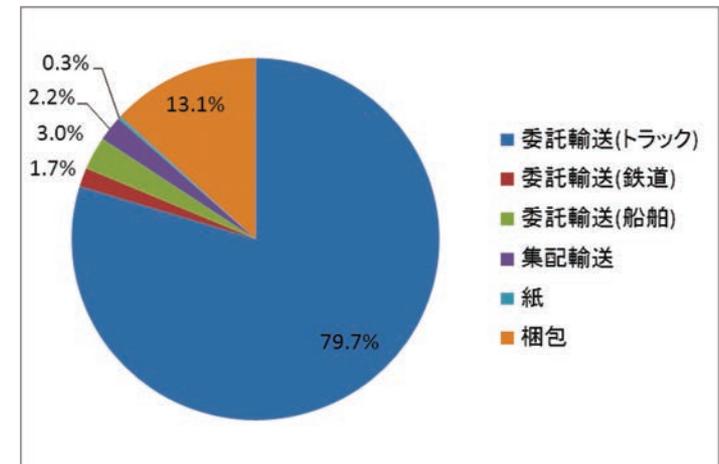


各社の考え方

<p>□ 算定を行う背景・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内で温室効果ガス排出削減に対する意識を高めるため。 ● 委託輸送先の状況を把握し、連携して環境対策を行うため。 ● 荷主に対する提案(モーダルシフト等)を行うための基礎材料とするため。
<p>□ 算定結果の活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで把握していなかった部分(集配の委託部分等)の排出規模を把握し、削減可能性を検討する。
<p>□ 算定のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンを通じた削減量の把握、削減可能性の検討やその目標設定が可能なこと。
<p>□ 社内の算定体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境課でデータを手し、算定はMRIで行った。



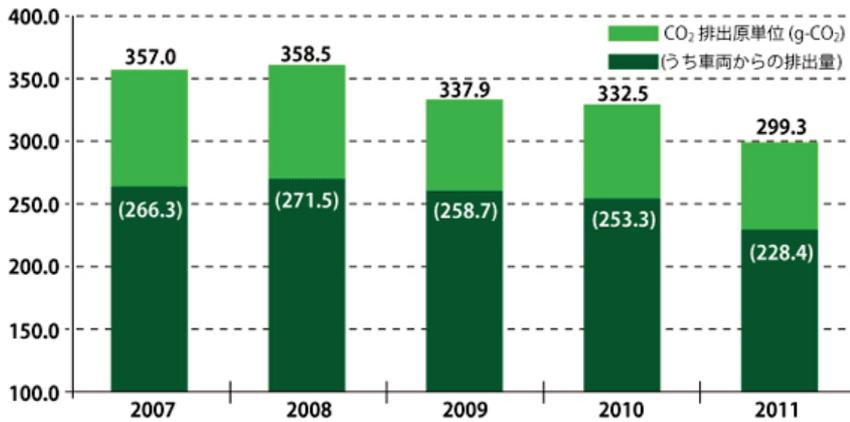
サプライチェーン排出量の算定結果



カテゴリ1の排出量の内訳

各社の考え方

- | | |
|---------------------------------|---|
| <p>□ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 従来から、低公害車の導入、サービスセンターの設置による人力輸送の促進、ユニフォーム等のグリーン購入の推進等の施策は積極的に行なってきた。 ● 今回の算定結果から、カテゴリ1の委託輸送分の排出量が全体に占める割合が大きく、この部分の削減が問題となることが判った。また、カテゴリ12では複写式送り状の占める割合が大きい。これについては圧着式への転換等の削減施策が考えうる。 |
| <p>□ サプライチェーン排出量算定の課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 活動量や排出原単位の精度が悪いことが大きな問題である。このため、現状ではスコープ3排出量を開示する予定はない。 |
| <p>□ これからサプライチェーン排出量を算定する方へ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 把握することで得る気づきがあるため、まずは概算でも全体像をつかんで把握することが重要。 |



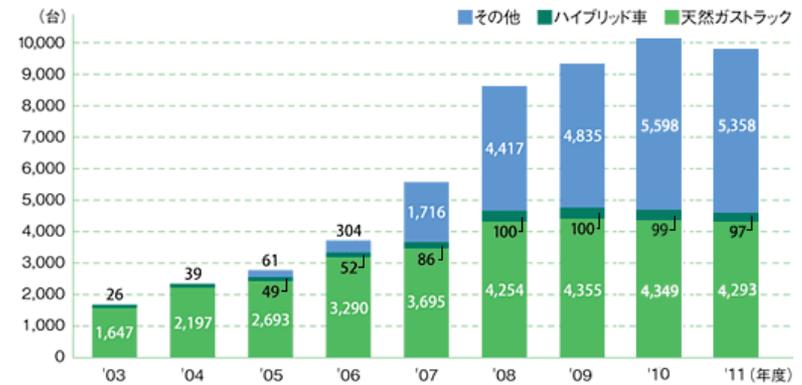
CO2排出原単位*の推移

*CO2排出原単位

= CO2総排出量 / (宅配便個数 + メール便冊数 (10冊を宅配便1個と換算))

<http://www.sg-hldgs.co.jp/csr/report/environment/co2.html>

低公害車導入の推移



低公害車導入台数の推移

*「その他」: 佐川急便が保有しているディーゼル車の中で

H27年度燃費基準達成車とH17~22年度の排ガス規制適合車の合計台数

http://www.sg-hldgs.co.jp/csr/report/environment/co2_02.html

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> 委託幹線輸送(トラック)の推定燃料使用量 (※実績車種別走行距離を想定燃費により燃料消費量換算して推定) 	<ul style="list-style-type: none"> 温対法提供値
	<ul style="list-style-type: none"> 委託幹線輸送(鉄道、船舶)の推定輸送トンキロ (※推定種類別積載重量と走行距離から推定) 	<ul style="list-style-type: none"> 温対法提供値
	<ul style="list-style-type: none"> 委託集配輸送の貨物個数 	<ul style="list-style-type: none"> サンプルデータより作成した、貨物1個あたりの配達に係るCO2排出量
	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙、梱包資材(送り状、梱包材、シール)の購入金額 	<ul style="list-style-type: none"> 3EID
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> 車輛、物流拠点の購入金額 	<ul style="list-style-type: none"> 3EID
カテゴリ3「Scope1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動」	<ul style="list-style-type: none"> 使用電力量 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位DB(*1)
	<ul style="list-style-type: none"> 化石燃料使用量 	<ul style="list-style-type: none"> CFP基本DB
	<ul style="list-style-type: none"> バイオ燃料使用量(ガス、ガソリン、ディーゼル) 	<ul style="list-style-type: none"> Defra提供値(*2)
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙の排出量 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位DB(*1)
カテゴリ8「リース資産(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> 車輛、物流拠点のリース金額 	<ul style="list-style-type: none"> 3EID
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	<ul style="list-style-type: none"> 梱包資材の推定客先廃棄量 (※購入枚数と1枚あたり重量、客先廃棄割合から推定。客先廃棄割合については、送り状は客先廃棄綴り枚数より推定、梱包資材・シールは全量客先廃棄と仮定。) 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位DB(*1)

*1「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等算定のための排出原単位データベース」

*2「2012 Guidelines to Defra / DECC's GHG Conversion Factors for Company Reporting」(Defra、英国環境食料農村地域省)